

## 第95回憲法と平和を考えるつどい



### 衆議院選挙後の情勢と東アジアの安全保障 ～「基地国家」から「戦場国家」に変容する日本の動き～

講演要旨：衆議院総選挙で自公政権は大きく議席を減らした。その一方で護憲野党たる日本共産党と社民党は伸び悩んだ。立憲など議席を膨らましたものの、護憲政党であり得るかどうか。日本の政局は総保守化し、その限りでは改憲の勢いと、さらなる右傾化が顕在化してきている。東アジアから欧米社会においても、右翼ファシズム政権や勢力が台頭している。日本も「基地国家」から、日本列島全域が戦場化する可能性がリアリティーを持つに至っている。こうした全体状況を概観しながら、「建国記念の日」の意味と改憲の動き、日本軍事化の根底にあるものを論じてみたい。この夏の参院選に向けての護憲勢力の再結集と護憲運動の再活性化を求めて、私たちの思いを一つにするための方途を共に考えていく機会となればと思います。

とき：2025年2月11日(火)

10時00分～12時30分

講演 10時～11時30分、質疑・意見交換 11時30分～12時30分

ところ：宮崎市民プラザ(4階)・ギャラリー (宮崎市役所前)

こうけつ あつし

講師：**瀬瀬 厚 氏** (山口大学名誉教授・政治学)

主催：日本科学者会議(JSA)宮崎支部、宮崎民主法律家協会

協賛：憲法と平和を守る宮崎県連絡会、みやざき九条の会、

安全保障関連法の廃止・立憲主義の回復を求める市民連合みやざき

◎どなたでも参加できます。なお、参加費として **500円** いただきます。

ただし、大学生・高校生等は無料です。

#### 講師プロフィール

1951年岐阜県生れ。現在、明治大学国際武器移転史研究所客員研究員、前明治大学特任教授、政治学博士。近現代日本政治史・現代政治・安全保障論、対アジア関係史専攻。主著に『日本海軍の終戦工作』(中央公論社・新書)、『文民統制』(岩波書店)、『集団的自衛権容認の深層』(日本評論社)、『暴走する自衛隊』(筑摩書房)、『戦争と弾圧』(新日本出版社)など多数。

#### ◎ピースウォークのご案内：

つどい講演の終了後すぐに、「みやざき九条の会」主催によるピースウォークが行われます。こちらもふるってご参加ください。雨天決行です。コースは、宮崎市民プラザ前広場 → 橋通り → 山形屋前交差点で解散します。

問い合わせ先：宮崎中央法律事務所  
(Tel.:0985-24-8820)